

令和5年度 福島中学校 シラバス

学 年	1年	教 科	技術・家庭科(技術分野)	担 当	菅原 賢	時 数	35
-----	----	-----	--------------	-----	------	-----	----

◆教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを旨とする。

◆評価の観点及びその

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単元名 【時間】	学習内容	観点別評価の規準	評価方法
4月	技術分野の ガイダンス	ガイダンス 【2時間】	・生活や産業の中で利用されている技術 ・技術分野の学習の見通し ・学習内容の紹介調べ学習 ・タブレットの活用方法実習 ・SDGsの取組実習	【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考、判断、表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度	
5月					
6月	材料と加工①	材料と加工の技術の 原理・法則と仕組み 【9時間】	・金属の特徴と利用法を知る。実習 ・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用する。実習	【知】金属の特徴と性質についての知識を身に付けることができる。 【知】工具や道具の名称、使い方を理解する。工具や機器を安全に使用できる。 【知】有効な技術を用いて作業ができる。 【思】工具や機器の機能や構造を考えて使用することができる。 【思】工具や道具の使い方を工夫して使用し、自分の生活に役立つ製品を作製できる。 【主】技術室にある工具や機械はどのような加工をするためのものか調べようとしている。	ワークシート レポート 振り返り 作品
7月					
8月	材料と加工②	材料と加工の技術の 原理・法則と仕組み 【10時間】	・製作図を読み取ることができる。 ・木材の特徴と利用法を知る。 ・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用する。 ・材料と加工に関する技術の適切な評価、活用について考える。 ・簡単な木製品の製作実習	【知】立体の描き表し方と製作図の読み取りをすることをしようとしている。 【知】身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 【知】工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。 【主】主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。	ワークシート レポート 振り返り 作品
9月					
10月					
11月	生物の技術	生物育成の技術 原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解 【7時間】	・生物育成の技術の目的を知る。 ・生物育成の技術についてまとめ実習 ・スプラウトの育成を行い、育成環境を調節する技術を体験実習 ※リーフレタスの栽培	【知】生物を育てる技術の目的について理解している。 【主】主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 【思】育成する作物に適した環境条件について考えている。	ワークシート 観察レポート 栽培結果 振り返り

12 月 1 月 2 月 3 月	情報 の 技 術	情報の技術 原理・法則と仕組み 【7時間】	・情報の技術とは調べ学習 ・情報を検索しまとめる実習 ※スライドを活用したレポートの作成	【知】情報の表現や記録ができる仕組みを理解し 情報の技術について考えようとしている。 【主】情報の安全を確保するために必要な判断や 対応をする力を身に付けようとしている。 ※安全に利用するための情報モラル ※安全に利用するための情報セキュリティ	ワークシート レポート 振り返り
---------------------------------------	-------------------	-----------------------------	--	---	------------------------